



事業概要

- 中山間地域の小規模校や複式学級を有する小学校に対し、各地域や学校の実態に応じた支援を行うことで、教員の指導力を高めるとともに各学校の特色ある教育課程の活性化を図る。

現状・課題

- 管内の中山間地域には、小規模校や複式学級を有する小学校（約38%）が多く、教員同士が切磋琢磨し授業研究していく機会を充実し、授業改善につなげることが必要である。

実施内容

- (1) 小規模・複式学級を有する学校における「ふるさと未来教育研究指定事業」小規模・複式学級を有する学校の授業改善及び特色ある教育課程の活性化を図る市町村を指定し、指導訪問等を通じて複式の授業改善を行う。
 - ① 指定地域
・ 3市町村
 - ② 支援訪問（各市町村、年間6回程度）
 - ・ 市町村の年間計画に基づき、教育計画の改善、授業研究、授業公開等への支援
 - ・ 先進校への視察研修
 - ③ 指定期間 1年間（平成30年度）
- (2) 複式教育スーパーバイザーの派遣（8回）
小規模及び複式校からの要請に応じて訪問し、指導助言を行う。

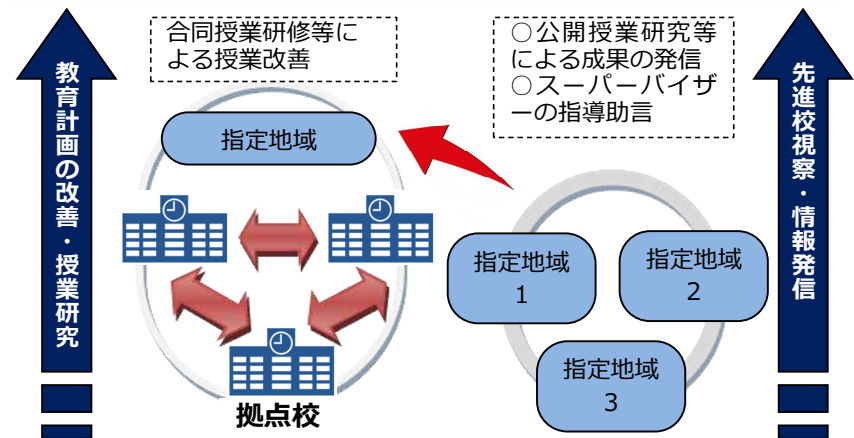
期待される効果

- 小規模校や複式学級を有する学校における授業研究が充実することにより、児童の学力が向上し、中山間地域の教育振興が促進する。

事業目標

- 小規模校や複式学級を有する学校の教員の指導力向上及び児童の学力の向上を図る。
【検証方法】
授業力チェックシート・児童を対象としたアンケート・各種学力調査等

教員の指導力向上・児童の学力向上



事務所の支援訪問・複式教育SVの指導助言